

# 地域・防災だより

第65号 2024年2月

天嶽院下自治会・自主防災会  
(作成協力)防災協カグループ

## ◎年末の町内一斉清掃実施(12月10日)

村岡地区恒例の年末一斉清掃が当町内でも行われました。当日は朝9時を過ぎると、各所で自宅前の道路を家人が清掃していました。また両公園やオリンピック前のバイパス道路沿いの側道では、夫々ご近況の皆さんで協力し、清掃作業をしていました。この村岡地区一斉清掃は、毎年夏季と年末の2回実施しているものです。



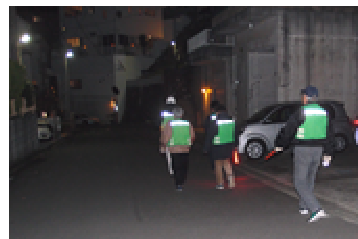
## ◎静寂な天嶽院の元旦初詣(1月1日)

晴天に恵まれた2024年元旦早朝、天嶽院の境内は静寂に包まれ、時折家族連れが訪れる静かな初詣となりました。コロナ明けの昨年は、ウクライナ情勢の先が見えない中、秋以降パレスチナ・イスラエル紛争が再燃し、新しい年を迎えました。地球温暖化の課題もあり、いずれも人類の英知で終息するよう祈願する、初詣でした。



## ◎真冬の町内防犯パトロール状況(1月27日)

真冬の夜間、自治会の防犯防災役員とOB・ボランティア隊員(計12名・大坊隊長)が、毎月第2・第4土曜に、拍子木を叩き「火の用〜心!!」「戸締り用〜心!!」と呼掛けながら町内を巡回し、地域の安心・安全に努めています。防犯パトロール隊では、随時ボランティア参加を歓迎(原則:毎月第2・第4土曜、18時、御幣下公園集合)しています。



## ◎藤沢市「地域防災活動推進大会」に参加(1月27日)

藤沢市民会館・小ホールで行なわれ、自治会から大森会長ほか計3名が参加し、第1部は(1)藤沢市防災組織連絡協議会の活動報告、(2)自主防災活動事例紹介(六会地区天神小学校避難所開設訓練)があり、第2部の防災講演会は、アジア防災センター小川理事長による「地域の危険に対応した市民防災と都市防災の推進」を演題に講演され、①タオル掛けによる安否確認の意義、②個別避難計画(タイムライン)の作成(家族、要支援者は近隣・民生委員協力)、③市内地区別の災害危険度評価の確認などが強調されました。今回は元旦発生 of 能登地震直後そして関東大震災100年後でもあり、参加者の関心は高いものでありました。



**防災キャンペーン「火災報知器の設置はお済みですか？」** 平成23年から住宅に設置が義務化され、火災発生時に家族の身を守る装置の一つです。まだお済みでない住宅は、早急に設置されることをお勧めします。藤沢市の設置率は令和5年現在で76%です。設置の効果として、死亡数と損害額は半減、焼損面積は約6割減になることが、総務省から報告されています。大切な家族の命と家財を守るため、私たちの地域でも更なる普及が望まれます。既に設置済みの場合は、毎年動作テストによる電池等の不具合の点検【順次、各端末で、ボタンを押すかヒモを引く】を忘れずにお願いします。